

九品仏自治会だより

http://setagaya-chousouren.org/ トップ→町会・自治会一覧

発行者 九品仏自治会
会長 横山 昭夫
奥沢 8-7-4 (3701-7558)
発行日 2015.4.20. VOL.196

安全・安心パトロールに参加しませんか !!

自分たちの住んでいる町を散歩する感覚で数人のグループに分かれてパトロールしています。パトロールと言うと大げさですが、歩くことで健康にも寄与しますので一石二鳥です。メンバーも、この日を楽しみに参加されている人も多く、パトロール中の会話も楽しんでお友達も増えます。

ゆっくり歩くことで、日頃見ているようで気付かない道ばたの草花や路地裏のたたずまいに出会ったりします。

自治会のベストを着て見回るので、犯罪抑止の効果も大きいです。このところ近所に空き巣も出現しているようですので、なおさらです。

参加したい方には予定表をさしあげますので、都合のつく時に集合場所の九品仏地区会館の前においで下さい。黄色いベストを着たメンバーが待っています。住んでいるところに関係なく自由にご参加下さい。



「犯罪ゼロの日」に参加した方々
(九品仏小学校 PTA と合同で実施)

「自分たちの住んでいる町は、自分たちで守ろう。」あなたの参加をお待ちしています!!

問合せ先

6丁目 内田 3701-6462 7丁目 宮下 3705-9573 8丁目 長田 3702-8361

カレンダー

4月

- 24(金) 九品仏地区街づくりの会
- 25(土) 定時総会 会場：九品仏地区会館地下
開場：13：00
開会：13：30
- 26(日) 統一地方選挙投票日
- 28(火) 組織部会

5月

- 11(月) 九品仏小 PTA 古紙回収
(予備日 18日)
- 12(火) ふれあい会、定例理事会
- 19(火) 回覧
- 26(火) 防災部会

お詫び

4月のカレンダーで、九品仏小学校 PTA の古紙回収の予定があるように、誤って掲載しまして、ご迷惑をお掛けいたしました。謹んでお詫び申し上げます。

5月ふれあい会予告

茶話会=九品仏「スイーツ」の食べくらべ会?

日時：5月12日(火) 13:00~15:00

場所：九品仏まちづくりセンター2階活動フロア

会費：300円

お菓子をつまみながらの気楽な集まりです。
楽しい会にしましょう!!

参加をお待ちしています。

問合せ・連絡先：氷見 3701-7877



日赤募金及び自治会費集金協力のお願い

本年も赤十字募金に協力します。

合わせて、自治会費の集金も始めますので

ご協力をよろしくお願いいたします。

回覧



4月ふれあい会 お花見会

ふれあい会では毎年お花見を企画していますが、桜の時期は年々早くなっており、八重桜を楽しんだり紫陽花に焦点を当てたりしてきました。今年は、うまくいけば桜の花に間に合うかと期待して第1火曜日に設定したのですが…。

4月7日はそれまでの初夏の暖かさとは打って変わって、肌寒い雨がちの一日となってしまいました。東

工大キャンパス行きはあきらめ、参道の名残の桜を眺めて街づくりセンター2階に移動。御弁当を広げて、おしゃべりの花を咲かせました。それぞれご無沙汰していた方々との旧交を暖めたり、日頃お話しする機会のなかった方と知り合えたり。楽しいひとときを過ごしました。



感震ブレーカー つてご存知ですか？

知ってお得な防災あれこれ

震災時、火元にならないために その1

震度5強以上の揺れで **自動的に通電を切る** 装置です

阪神淡路の震災では電気の復旧時、通電火災が多数発生して被害を大きくしました。その後は、地震で避難する時は必ずブレーカーで電源を切るのが常識になっていますが現実には、倒れたものに邪魔されたり、高いところにあるため届かなくて切れない等の問題があります。そこで自動的に通電を切る装置が開発されました。

でも、待ってください！自動的に電気が切れたら真っ暗闇で避難に苦労したり、オートロックは開かなくなることも。また、在宅で医療機器を使っている人には命に関わる大問題です。自動的に切れればいいと云う訳ではないのです。そこで、状況に応じて次のようなタイプの機器装置が開発販売されています。

- ① 配電盤に組み込み、センサーで揺れを感知する分電盤タイプ
- ② 配電盤の脇に取付ける感震リレータイプ（漏電ブレーカーが必要）
- ③ コンセント毎に地震を感知して切るコンセントタイプ
- ④ 揺れを振り子や重りの落下で感知してブレーカーを落とす簡易タイプ

いずれも、医療機器や防犯設備の予備電源と避難用照明は別途必要です。

利用者の負担で設置するには、PR不足で効果が実感しづらいこともあり、普及が遅れているのが（利用率7%程度）現状です。今年に入り政府も、今後起こるであろう地震をにらみ、本格的に普及につとめ始めたようです。地方自治体では、すでに、木造家屋密集地域を対象に補助金を出して設置を促進しているところもあります。



つづく